

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和元年11月8日
タイトル	ぜんぶ手で刈ったよ！2019
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年10月10日（水）福山市立駅家西小学校5年生51名が、稲刈りを体験しました。

駅家西小学校の北側にある約300㎡のほ場で、駅家西小学校の学区全ての町内会から町内会長さんをはじめ多くの地域の方が学区全体の取組としてこの農業体験を支えておられ、6月に5年生が田植えをし田んぼを管理しておられました。

昼休憩になると校庭で遊ぶ他の学年とは別に5年生は準備のため着替えて校庭に整列し田んぼへ向かいました。

田んぼではすでに地域の方が稲刈りをし、はざ掛けをしておられました。今年もち米を植えられ良く実って穂が重さで倒れているものもありました。

まず地域の方から刈り方を教えていただき、子ども達は、先に稲を刈る子と刈った稲を束にする子に分かれて稲刈り開始です。地域の方に傍についてもらい、稲刈りの仕方や束に括るやり方を教わりながらしました。殆どの子が稲刈りは初めてなのですが、何度か鎌で刈るとコツをつかみ、ザクザクとすぐに上手に刈れるようになりました。刈った稲を束に括る方は難しく、何回教わってもきつく括ることが難しいようで、中には稲がバラバラと落ちたりするものもありました。

半分刈ったら、交代してみんなが稲刈りと束に括るのを同じようにしました。全部刈り終え、束にしたところで最後はみんなで落穂拾いをしました。「一人5本は拾うよ。」と黙々と落穂が一つもないほど拾いました。



地域の方と一緒に一生懸命稲刈りしました。田んぼにいる小さな生き物にも興味津々です！

全部刈り終えたところで子ども達の帰宅時刻になってしまい、一旦集合しました。教頭先生が「しっかりできたと思う人。」と聞かれると、みんな元気一杯に手をあげました。よく晴れて暑い中、汗をかきながら一生懸命稲刈りをしたようです。

子ども達から「鎌を使うのはすぐ慣れたけど束を括るのが難しかった。」「初めて稲刈りをして楽しかった。」という声を聞きました。

最後に、子ども達から大きな声で「ありがとうございました。」とお礼を言い、地域の方から「みんなが頑張って作ったもち米で、お餅をついて食べられるように行事を考えますので楽しみにしてください。」と言われました。

子ども達が学校へ帰った後、子ども達が括った稲の束は緩くバラバラになってしまうものがあるので地域の方が全員で括り直してはげ掛けをされました。みなさん今は全く手で稲刈りをしなくなっていますが、すぐに思い出して上手に稲刈りや束に括ったりして、子ども達に教えておられました。「子どもの頃にした事は忘れんもんじゃな。」とおっしゃり、昔の農作業を思い出したり子ども達と接することで自然と笑顔になり、この農業体験を地域の方も喜んでおられました。

駅家西小学校5年生が、貴重な体験を通じて農業や環境など様々な分野に関心を広げてもらいたいです。水土里ネット福山では、引き続き子ども達の様子取材いたします。